

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立浜松視覚特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立浜松視覚特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	32

1. 使用状況

寄贈物品名	フロアバレーユニフォーム
使用学年及び人数	高等部普通科、専攻科スポーツ部生徒 7名
使用頻度	年2回(7月フロアバレーボール東海大会、11月ゴールボール東海大会)
使用状況	<p>7月9日(土)、静岡県小笠山総合運動公園「エコパアリーナ」で東海地区の盲学校、視覚特別支援学校全7校が参加した第23回東海地区盲学校フロアバレーボール大会が開催された。その際に、本校から出場のスーポーツ部生徒7名が着用し大会に参加。</p> <p>11月12日(土)、岐阜県立岐阜盲学校で東海地区の盲学校、視覚特別支援学校5校が参加した第29回東海地区盲学校ゴールボール大会が開催された。その際に、本校から出場したスポーツ部男子生徒3名が着用して大会に参加。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>今まで、大会にはビブスを着用して参加していたが、ユニフォームを着用して参加することで、チームの一体感や、競技に対するモチベーションが高まり、良いプレーにつながった。フロアバレーボール東海大会では、準優勝するなど、成果が表れてきている。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>引き続き、大会の参加にはユニフォームを着用して参加していく予定である。また、来年度は、フロアバレーボールの全国大会が静岡県で開催されるため、全国大会でも着用していきたいと考えている。生徒は、大会に向けて意欲を高め、部活に積極的に取り組んでいる姿が見られる。</p>
その他希望や所感など	<p>現在、視覚特別支援学校の生徒数は減少しており、練習試合を行うことが難しかったり、チームを編成することすら難しい学校もあります。県内の学校同士で練習などを計画するにしても、交通費など生徒個人の負担となり、難しい状況です。マイナーな障害者スポーツに対するサポート体制が増えてくることを希望しています。</p>

7月9日(土) 第23回東海地区盲学校フロアバレーボール大会(エコパアリーナ)の様子



開会式で、選手宣誓を行う本校生徒



前衛選手がサーブを打つときには、後衛選手が方向をガイドします



前衛選手はネット際から、強烈なスパイクを打ち込みます



準優勝で表彰されました

11月12日(土) 第29回東海地区盲学校ゴールボール大会(岐阜県岐阜盲学校)の様子



ゴールボールは3対3で行う競技です



全員アイシェードをして競技を行います



ゴールに背を当てて、自分の位置と方向を確認して、狙いを定めて投げます

